

救急車の適正利用に御協力ください！

緊急時に救急車が足りていません！ 松本広域消防局管内 42万人 の命を守る 救急車 はわずか 14台。救急要請は年々増加していますが、搬送された人の 約5割が軽症 です。救急要請を迷ったときの相談先を御紹介します。

長野県救急安心センター（＃7119）

大人（おおむね 15 歳以上）の方が、急な病気やケガ等で救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったときに、看護師等の相談員が電話でアドバイスします。このようなときは

局番なしの「＃7119」 を御活用ください。

＜相談日時＞

平日：午後7時から翌日午前8時まで

土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）：午前8時から翌日午前8時まで



長野県小児救急電話相談（＃8000）

お子さんの夜間のケガや急病等の際、保護者の方々が対処に戸惑う時や、医療機関を受診すべきかどうか判断が難しい時に、応急対処の方法や受診の可否等について助言を行います。小児科医の支援体制のもと、看護師や保健師等が相談に応じます。

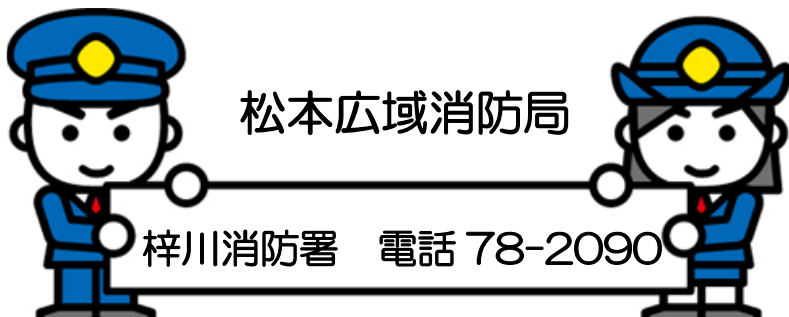
局番なしの「＃8000」 を御活用ください。

＜相談日時＞ 毎日：午後7時から翌日午前8時まで

緊急・重症の場合は迷わず

119 番通報してください！

裏面もご覧ください



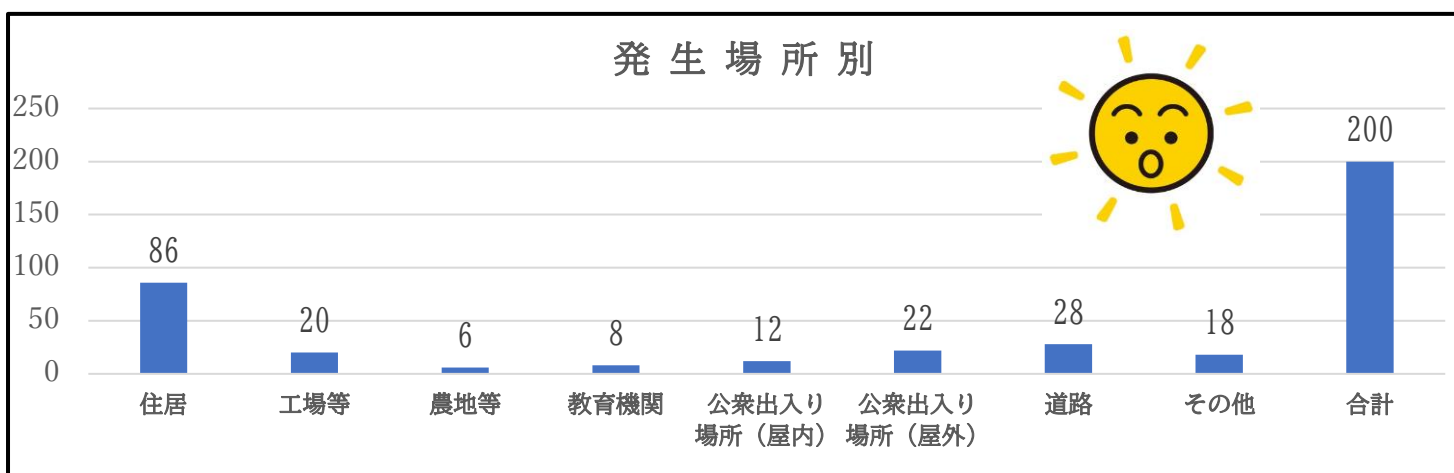
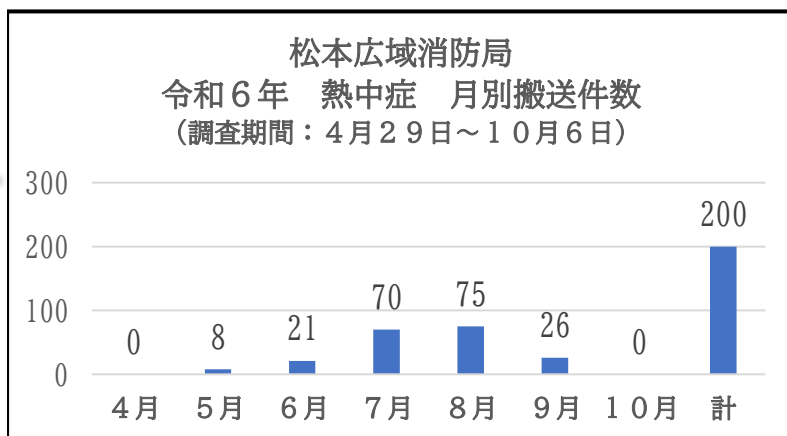


熱中症の予防は できていますか？

7月・8月に熱中症が急増!!

5月から熱中症による救急要請があり、7月と8月は、それぞれ70件以上の救急要請がありました。

令和6年中に熱中症またはその疑いによって救急要請された総数は200件でした。



住居での発生が最多!!

発生場所別では、住居での発生が最も多く、全体の4割以上です。

頭痛、めまい、吐き気、全身の倦怠感や脱力感、手足がけいれんするなどの症状は熱中症の初期症状です。言動がおかしくなったり意識障害の症状を認めたら、すぐに119番通報で救急車を呼びましょう。

熱中症 予防行動をとりましょう

- 1 日傘や日陰、エアコンや扇風機を適切に使って暑さを避けましょう。
- 2 こまめに水分と塩分を補給しましょう。
- 3 バランスのよい食事を心がけましょう。
- 4 熱中症警戒アラートをチェックしましょう。

◎ こどもや高齢者は特に注意が必要です

熱中症予防行動で

暑い夏を安全に過ごしましょう!!

